

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | | | | |
|------|-------------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | SIGMA STING | 投球者 | 徳江 和則 | センター | 平和島スターボウル |
| RG | 2.470 | △RG | 0.047 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール | |

テストボール：SIGMA STING

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：PRIMAL RAGE

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

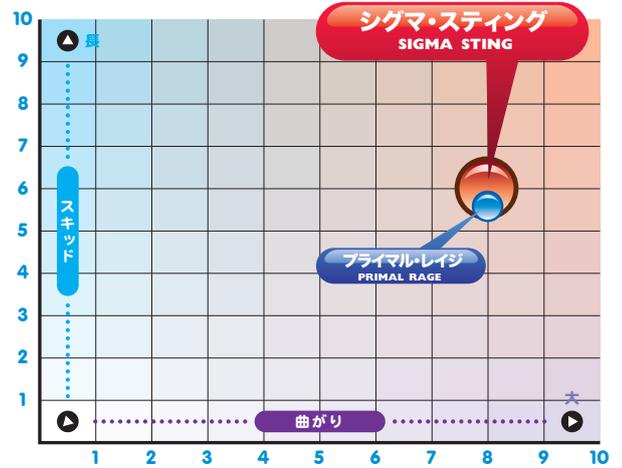
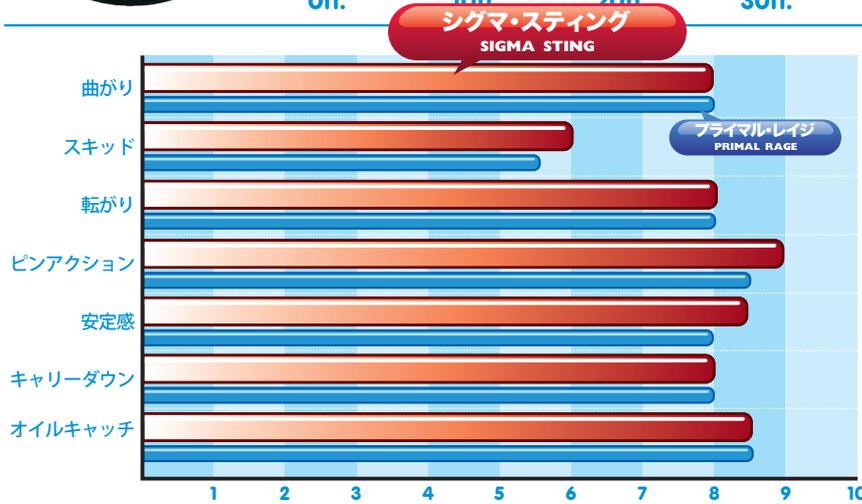
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Primal RAGEがPBAツアーを制し一気に脚光を浴びたMOTIVブランドですが、定評のPrimal SCREAMで代表されるWhiplashカバーストック以降、性能を押し上げることとなったFusion Pearl Reactiveは、Primal RAGEをはじめ、TRIBAL、CRUEL INTENT、そしてこのSIGMA STINGで、各々コアの特性や表面仕上げの違いを用い、幅広いコンディションへとアプローチしてきています。

今回のSIGMA STINGはSIGMAシリーズの代表的とも言えるSIGMAコアを心臓部にSIGMAシリーズ初となるパール素材との組み合わせで、Primal RAGEと同様のFusion Pearl Reactiveを採用しています。比較すると、双方スキッドからキャッチのイメージはほぼ同じなのですが、Primal RAGEのImpulse V2コアは角が出るバックエンドモーションが持ち味、一方SIGMA STINGはその角がやや丸くなったような柔らかい切れ味がイメージでき、私は同じぐらいの曲がり幅であれば、STINGのほうがコントロールしやすいと感じました。RAGEのイメージで角ばったリアクションが邪魔に感じられた方は、STINGは必ず気に入っていただけるでしょう。

ここ最近、PBAツアーでMOTIV社のボールを使用するボウラーが増えています。やはりそれは2CRUELから採用されているWhiplash Peactive、そしてFusion Pearl Reactiveが他社の性能と比べ見劣りしないことを表しています。前回のPrimal RAGEはPBAツアー選手と姫路プロ等の活躍もあり、発売後完売し、急遽追加輸入を致しました。このボールも第一線の舞台で活躍し、またMOTIVのボールの名を世間に知らしめるでしょう。

特記事項

Fusion Pearl Reactive特有のスキッドとキャッチをSIGMAコアと融合させました。コントロール性が良く、RAGEでやや暴れ感が出た人にはこのSIGMA STINGは抜群でしょう。